

## 2年探究 レポート作成の道 ロードマップ

### 1. 課題の設定

分野の方向性だけを示し、あとは生徒自身に「究めたい問い」を考えさせる

人文学	→①文学	②語学	③教育学
社会科学	→④社会学	⑤経済・経営学	⑥法学
自然科学	→⑦理学	⑧工学・産業	⑨医学・薬学

### 2. 各分野の探究の過程

人文学	社会科学	自然科学
①テーマ（大枠）の決定	①テーマ（大枠）の決定	①テーマ（大枠）の決定
②問い（中枠）を考える	②問い（中枠）を考える	②問い（中枠）を考える
③検証内容（小枠）検討	③検証内容（小枠）検討	③検証内容（小枠）検討
④検証結果の予想・仮説	④検証結果の予想・仮説	④基礎的知識の背景調査
⑤基本情報の定義・収集	⑤先行文献の収集・分析	⑤検証内容のデータ収集
⑥先行文献の収集・分析	⑥必要情報の具体的調査	⑥収集データの整理分析
⑦論拠となる情報の整理	⑦収集したデータの分析	⑦具体的な実験計画立案
⑧実際の検証結果の考察	⑧分析結果考察・まとめ	⑧実験の実施・結果考察
⑨今後の見通しを考える	⑨今後の見通しを考える	⑨今後の見通しを考える
⑩レポートの内容の構成	⑩レポートの内容の構成	⑩レポートの内容の構成
⑪レポートの執筆・完成	⑪レポートの執筆・完成	⑪レポートの執筆・完成

### 3. 各分野の探究の弱点とその克服方法

人文学：先行文献が非常に多い、新たな発見が難しいため調べ学習で終わりがちになる

→発見にこだわらない（情報のまとめでもよい）、用例を網羅する

社会科学：調査資料の作成の手間がかかる、調査資料の収集量が不足しがちになる

→先行文献のデータ・年鑑統計を基準に調査する、フォームの配信ホームを作る

自然科学：実験器具・実験材料の不足（理数探究との差もある）、文献の専門性が非常に高い

→実験道具の自作（※薬品類は×）、入門書から参考文献をたどって論文へ

### 4. 共通して指導すべき内容 今後の探究で並行して指導していきます

- ①アンケート用紙（調査用紙）・アンケートフォームの作成方法
- ②収集したデータの分析方法（データマイニング・テキストマイニング）
- ③データや文献の引用方法と研究倫理（生成AIについての利用を含む）
- ④アカデミック・ライティングの方法

5月9日（木）「必要な本を図書館で探し、自分の「究めたいこと」をテーマとしてみよう」

時間	指導内容	指導上の留意点
13:20	<p>プリント配布、授業の流れの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の「究めたいこと」を書き出してみる</li> <li>・必要な文献等の洗い出し</li> </ul> <p>※フリーライダーには適宜声かけをお願いします</p>	<p>GIGA 端末を使用（OPAC, JKS 等）</p> <p>ひたすらプレストする</p> <p>※教員側からも独自のテーマ例をいくつか提示してください</p> <p style="text-align: center;"><b>各班 15 分を配当</b></p>
13:40	<p>2-5 前・2-4 前 図書館での書籍探し・貸出 （2-5：天野～巽 2-4：浅井～後藤）</p>	<p>13:37 頃から移動開始</p> <p>付添：岡 T・河村 T</p> <p>教室：今村 T・藤中 T</p>
13:55	<p>2-3 前・2-1 前 図書館での書籍探し・貸出 （2-3：綾部～竹内 2-1：阿部～高田）</p>	<p>13:52 頃から移動開始</p> <p>付添：下岡 T・渡壁 T</p> <p>教室：石 山・加藤 T</p> <p>※休み時間も引き続き利用可</p>
14:10	<p>休み時間 （全クラス利用可能時間）</p>	
14:20	<p>2-2 前・2-4 後 図書館での書籍探し・貸出 （2-2：赤瀬～田中 2-4：酒井～和田）</p>	<p>14:20 に図書館集合</p> <p>付添：阿部 T・藤中 T</p> <p>教室：松本 T・河村 T</p>
14:35	<p>2-3 後・2-5 後 図書館での書籍探し・貸出 （2-3：田代～鰐淵 2-5：田中～良元）</p>	<p>14:32 頃から移動開始</p> <p>付添：石 山・今村 T</p> <p>教室：下岡 T・岡 T</p>
14:50	<p>2-1 後・2-2 後 図書館での書籍探し・貸出 （2-1：高橋～和田 2-2：都能～劉）</p>	<p>14:47 頃から移動開始</p> <p>付添：加藤 T・松本 T</p> <p>教室：渡壁 T・阿部 T</p> <p>※15:10 までに一旦必ず教室に戻る</p>
15:05	Classi 振り返り配信	
15:10	授業終了	

※一人1冊は必ず本を借りる（またはJKSで必ず本を読む）ことを強く伝えてください。  
図書館には高池先生が常駐している予定です（レファレンス担当）



## 【テーマ探しのポイント】

- (1)探究のテーマが次の条件（特に①②）を満たしているか？（当事者意識を持つために大切なこと）
- ①私（たち）に関心があって取り組みたいこと（I will…、あるいはWe will…）
  - ②私（たち）にできること（I can…、あるいはWe can…） ← 期間内に仕上がるかどうか  
+ 実験・調査可能かどうか  
（特に理系的探究は注意）
  - ③今の時代や社会が求めていること（We need…） ← 社会貢献を考える際に必要な視点
- (2)パッと調べて答えが出るような問いは× 別紙の（例）のようなテーマにするとそうなりにくい  
※必ずしも「AにおけるBについて」の形になっていなくても、google 検索くらいでは簡単に答えの出なさそうなところにアンテナを立てるのがコツです
- (3)今は大きなテーマになっていても、最終的には「ほどほどに具体的な」問いになりそうか？  
たとえば「コロナ禍におけるマスクの使用がコミュニケーションに与えた影響について」というテーマから、次のように思考のマスを進めていくことを考えられたらOK
- i 自分の身の回りで起こった現象について、情報を収集する（精緻な観察）
  - ii google スカラー等で関連する文献を探し、読んでまとめる（情報の収集）
  - iii 必要であれば範囲を限定し、項目を決めて調査し、分析する（データ収集）
  - iv それらの情報をまとめ、自分の言葉で結論を出す（あるいは見通しを立てる）
- (4)テーマから問いに変換する方法は「プレ探究」の際に教わりました。覚えていますか？
- 1 言葉の意味や定義に関する問い
    - ・遅刻とはどのように定義されるのか？
    - ・日本において遅刻にはどのような意味があるのか？
  - 2 物事の原因や理由に関する問い
    - ・ひとはなぜ遅刻するのか？
    - ・日本ではどうして遅刻がここまで厳しく指導されるのか？
  - 3 物事の信ぴょう性に関する問い
    - ・本当に日本の学校の遅刻指導は厳しいといえるのか？
    - ・遅刻は本当に悪いことなのか？
  - 4 何かと何かの比較に関する問い
    - ・日本と海外で遅刻の捉え方はどう違うのか？
    - ・50年前の日本と現在の日本を比べると遅刻に関する指導はどう変わったのか？
  - 5 実事例や先行研究に関する問い
    - ・遅刻に対して歴史的にどのような取組があったのか？
    - ・日本での遅刻の研究はどのように進んでいるのか？
  - 6 物事に対する影響に関する問い
    - ・遅刻は日本経済にどれほどの影響を与えているのか？
    - ・遅刻が学力に与える影響はどれほどのものなのか？

- ①文学：「【作品名】における【究めたいこと】について」  
例)『源氏物語』における「あはれ」が用いられる場面の意味について」  
例)「kanaria 氏の楽曲の歌詞分析における楽曲同士の関連性について」
- ②語学：「【日本語・英語・諸外国語】における【究めたいこと】について」  
例)「日本語における「ら抜き言葉」の拡がりについて」  
例)「英語における書き言葉と話し言葉の違いについて」
- ③教育学：「【校種・教科・対象者】における【究めたいこと】について」  
例)「小学校教育における「英語教育」の必要性について」  
例)「歴史科目における「暗記主義」の抱える問題点について」
- ④社会学：「【調査対象】における【究めたいこと】について」  
例)「東高等学校2年生における「読書意欲」と「成績」の相関性について」  
例)「電車利用者における「遅延」がもたらす心理状況について」
- ⑤経済・経営学：「【国・自治体・対象集団】における【究めたいこと】について」  
例)「日本における円安と人口減少がもたらす将来予想について」  
例)「アイドルグループ「B T S」におけるマーケティング戦略について」
- ⑥法学：「【具体的法令・判例・対象者】における【究めたいこと】について」  
例)「軽犯罪法における実際の検挙例と運用の乖離について」  
例)「平成10年「カレー毒物混入事件」におけるえん罪の可能性について」
- ⑦理学：「【分野・具体的現象・定理・予想】における【究めたいこと】について」  
例)「音声における効果的な情報伝達の条件について」  
例)「数学における魔方陣がいくつあるかの予想について」
- ⑧工学・産業：「【分野・具体的物質・業種】における【究めたいこと】について」  
例)「三大都市圏におけるヒートアイランド対策となりうる建築構造について」  
例)「玩具業界における少子化を見据えた生存戦略について」
- ⑨医学・薬学：「【具体的分野・疾病・医学的現象】における【究めたいこと】について」  
例)「コロナ禍におけるマスクの使用がコミュニケーションに与えた影響について」  
例)「日本の家庭におけるターミナルケア（終末期医療・看護）の在り方について」

このような形になっていなくてももちろんOKですが、いったんは「型」を意識してみることも大切です。